

世界の諸問題の複雑さ痛感

高校生 茶山 健太

(東京都 16)

私は、先月、沖縄で行われたアジアユース人材育成プログラムに参加した。アジア14カ国の高校生が集まり、環境問題について3週間、様々な講義を聴き、話し合うこのプログラムで、私は、世界の抱える問題の複雑さを痛感した。

エネルギー問題について話し合っている際に、日本人の私は、石油の使用を規制すれば、

すぐに解決するのではないかと思っていた。しかし、ブルネイからの参加者から、「そうしたら、産油国である自分の国が、破綻してしまう」と猛反対された。

私は、はっとさせられた。地球温暖化が進んでいるからといって、すぐさま、化石燃料を規制してしまっただけでは、苦しむ人々がいるのだ。ところ変われば、考え方も変わるのだということを知るとともに、世界の幸せのためになると思った提案の思わぬ落とし穴に気づかされた。

現代社会は、様々な問題を抱えているが、そう一筋縄にいかないのだということ学んだ。